

「応用糖質科学」投稿規定

1. **原稿種類**：本誌に掲載する投稿論文は、報文、ノート、総説とする。投稿論文は未公開のものに限る。また、他雑誌との二重投稿を禁ずる。その他の原稿は、原則として編集委員会からの依頼原稿とする。但し、総説は編集委員会から依頼する場合がある。
2. **投稿資格**：投稿論文の著者のうち少なくとも1名は本学会員であることを要件とする。依頼原稿については、この限りではない。
3. **原稿内容**：原稿は、種々の糖質、糖質を含む物質、糖質関連酵素等に関して、基礎から応用までの幅広い分野を扱う。投稿原稿は、原著として他誌に未発表なものに限る。
 - 1) 報文は、独創的な研究で、新規で価値ある事実或いは結論を含む。
 - 2) ノートは、報文としては纏まらないが、新たな実験方法、限られた部分の発見等、報告する価値のあるものとする。
 - 3) 総説は、一つの主題についての総合的な論説であり、先行研究を分析して著者自身の考え方を反映し、主題の概要及び現状知見を纏めたものである。
4. **原稿作成**：原稿は日本語とし、本誌の執筆要領にあわせて作成する。文章作成用等のAIツールを用いて原稿を作成することは推奨しない。論文の執筆時又は研究の過程においてAIを使った場合は、方法及び対象を開示する。図・表の転載については、著者本人が転載元の許諾を得る。
5. **頁数制限**：投稿原稿の長さは、原則として抄録(要旨)及び図表を含めた刷り上がり頁数が、報文は6頁以内、ノートは3頁以内、総説は8頁以内とする。刷り上がりが規定以上の頁数となった場合、本学会は超過頁代(1頁あたり10,000円)を執筆者に請求する。なお、超過頁を含めた上限は、報文が12頁以内、ノートは6頁以内、総説は16頁以内とする。但し、依頼原稿はこの限りではない。
6. **カラー印刷**：責任著者の希望により原稿の図表・写真が出版においてカラー印刷された場合、カラー印刷代は著者負担となり、本学会はカラー印刷代を責任著者に請求する(1ページ：46,000円)。カラー印刷は、基本的には責任著者の希望に依るが、編集委員会の判断でカラー印刷とする場合がある。
7. **著作権**：掲載された原稿の著作権は、日本応用糖質科学会に属する。
8. **投稿方法**：投稿原稿は、表題、著者名、本文、文献、図表・写真をすべて含む1個のPDF投稿原稿ファイルを作成し、原稿投稿WEBサイト(https://jsag.jp/bag_jtop/)から電子メールで(i)投稿原稿、(ii)誓約承諾書、(iii)連絡票を添付して、編集部に送付する。添付するPDFファイルの総容量は最大9MBまでとする。誓約承諾書、連絡票のファイルは依頼原稿にも添付する。誓約承諾書、連絡票のファイルは原稿投稿WEBサイトからダウンロードしたものを使用する。
9. **原稿の審査及び採否**：原稿が編集部に着した年月日を受付日とする。10営業日以内に受取の連絡がない場合は、下記編集部まで連絡をする。投稿原稿の採否は編集委員会の審査で決定する。投稿原稿は2名以上の査読者に査読を依頼する。審査の結果、採択が決定した年月日を受付日とする。なお、投稿規定及び執筆要領から著しく逸脱していると認められる投稿原稿は、審査前に受付の段階で返却する。執筆者は投稿前に、原稿投稿WEBサイトのチェックリストで原稿を確認する。審査の結果、訂正のため著者に返送された原稿が、正当な理由もなく3ヶ月以内に再提出されない場合は、投稿を取り下げたものとして処理する。3ヶ月より遅れた場合もしくは内容に著しい変更が認められた場合には、新規投稿として取り扱う。なお、特別な理由が有る場合は、提出期限の延長を編集部に申し出る。
10. **最終原稿**：投稿原稿の採択が決定した後、責任著者は最終ファイルを提出する。
11. **校正**：著者校正は原則として初校に限り、印刷上の誤り以外の字句の訂正、変更、追加は認められない。
12. **投稿・審査に関する問い合わせ先**：原則として電子メールとする。

投稿及び原稿に関する問い合わせ先：

〒162-0801 東京都新宿区山吹町332-6 国際文献社内「日本応用糖質科学会」編集部

電話：03-6824-9362 E-mail：bag@bunken.co.jp

審査に関する問い合わせ先：

〒921-8836 石川県野々市市末松1丁目308番地 石川県立大学生物資源環境学部食品科学科

「応用糖質科学」編集委員長 本多 裕司 E-mail：honda@ishikawa-pu.ac.jp